

# 医学の進歩・発展のために慶應義塾大学篤志会（献体の会）にご 献体された方を対象とした医学系研究に対するご協力のお願い

研究責任者	所属 <u>産婦人科</u> 職名 <u>准教授</u> 氏名 <u>阪埜 浩司</u> 連絡先電話番号 <u>03-5363-3819</u>
実務責任者	所属 <u>産婦人科</u> 職名 <u>特任助教</u> 氏名 <u>木須 伊織</u> 連絡先電話番号 <u>03-5363-3819</u>

このたび当院では、医学の進歩・発展のために慶應義塾大学篤志会（献体の会）にご献体された方を対象とした下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施するにあたり、患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

## 1 対象となる方

研究実施許可日（西暦 2020 年 4 月 6 日）より西暦 2025 年 3 月 31 日までの間に、慶應義塾大学篤志会会員で、死後、医学の進歩、発展のため、医学の教育または研究に献体する旨を本人および親族が承諾している方

## 2 研究課題名

承認番号 20190304

研究課題名 献体を用いた子宮移植手術を想定した解剖学的研究

## 3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部産婦人科 ・ 慶應義塾大学病院 産婦人科

## 4 本研究の意義、目的、方法

近年の生殖補助医療技術の進歩により多くの不妊夫婦の挙児を可能とし福音をもたらしてきました。しかしながら、子宮自体の何らかの異常による不妊や子宮が存在しない、もしくは存在しても子宮が機能しない子宮性不妊女性が自ら子どもを得るのはこれまで困難な状況でありました。近年、子宮性不妊女性の挙児を目的とした「子宮移植」という新たな医療技術が考えられるようになり、海外では既に臨床研究が開始され、この技術によりこれまでに 75 例以上の子宮移植が行われ、22

例以上の児が誕生しております。当院においても子宮移植の臨床応用を目指し準備を進めているところですが、臨床応用の前には十分な手術手技の修練や手術シミュレーションが求められます。

そのため、本研究の目的は子宮移植手術の臨床応用を想定し、ご献体を用いて子宮移植手術の技術開発および手術技術修練を行うことです。

方法は、既に医学部倫理委員会で承認されている研究課題「医師に対する献体を用いた臨床解剖学教育および臨床解剖研究の実施（承認番号：20070026、研究責任者 慶應義塾大学医学部解剖学教室 今西宣晶 准教授）」にご承諾頂いた慶應義塾大学篤志会（献体の会）のご献体を用いて、実際の子宮移植手術を想定し、ドナーおよびレシピエント手術を行い、手術手技の修練を行います。

## 5 協力をお願いする内容

臨床での子宮移植手術を想定した手術を施行させていただきます。

## 6 本研究の実施期間

研究実施許可日（西暦 2020 年 4 月 6 日）より西暦 2025 年 3 月 31 日

## 7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、年齢、性別、死因の情報のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの試料・情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した試料・情報を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

## 8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、試料・情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学医学部 産婦人科学教室 特任助教 木須 伊織

〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

TEL：03-5363-3819（月～金 9:00~17:00）

FAX：03-3353-0249

E-mail: iori71march@a7.keio.jp

以上